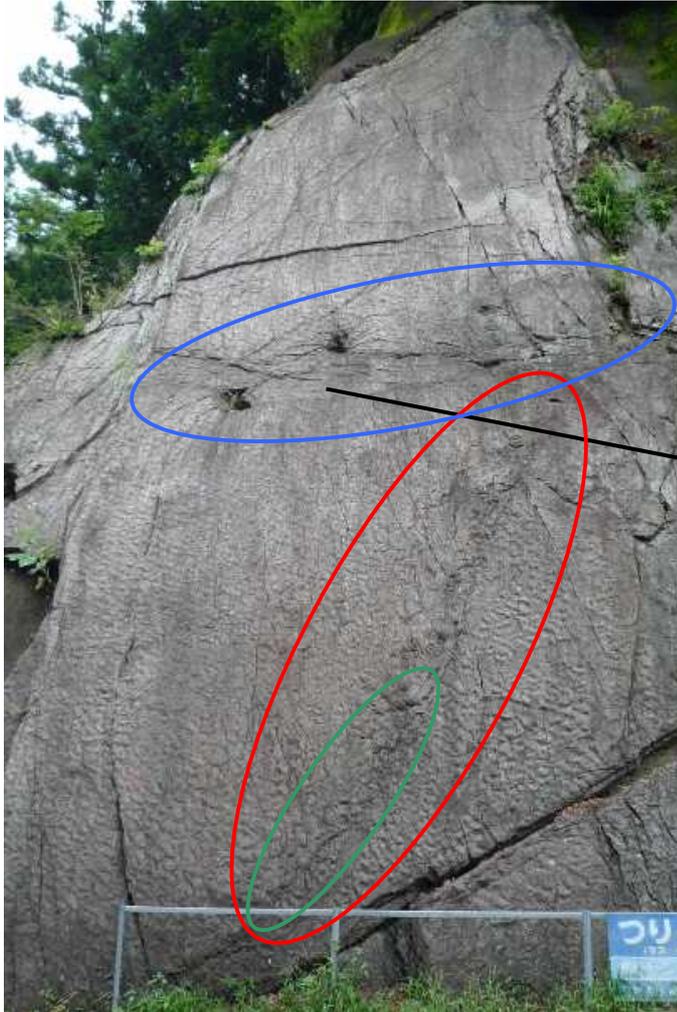


群馬県神流町 09.8.8  
恐竜センター &  
恐竜の足跡化石 をたずねて

富ヶ丘小 加藤

この地域は山中「地溝帯」と呼ばれ、白亜紀前期の地層が分布している。 サンチュウリュウ（ダチョウ型恐竜）



さざなみいわ  
「漣岩」旧中里村・国道299号線沿い  
水の流れたあと。汽水の貝化石が多く出土しているため、この辺りは河口だった。河川の流れによる波模様が残っている三角州に恐竜がやってきて、足あとを残した。  
3種類の生物の足跡が混じっていると考えられている。



足跡の形ははっきりしない。これはアンダープリントといって、足跡のついた泥の層の下側にある砂の層がへこんで化石になったものだからだそうである。

近くには、恐竜センターが主催している「化石発掘体験」の場所がある。

料金は1時間500円。2時間1000円。要予約。

また漣岩近くに、小さな売店があって、地元の人で自分で採取した化石をクリーニングして販売している。

アンモナイト、三角貝：プテロトリゴニア、  
汽水性二枚貝：コストキレナ など。

